

広がれ！子育て支援の輪

高知市

「ファミサポ」会員1000人超す

地域の子育てを手助けする有償ボランティア組織「こうちファミリーサポートセンター」（高知市丸池町1丁目）が開設されて、ことしで7年。保育園のお迎えや一時的な預かりなど、共働き家庭を中心に利用者が増えており、会員は初年度の28人から1044人（2010年度末）と、目標の千人を超えた。ただ、会員に占めるボランティアの数が不足気味で、同センターは「もっと会員を増やし、サポート態勢を充実させたい」と協力を募っている。

（松田さやか）

「今日は粘土を用意しちゅ 夫妻は、同センターのボランティアで。ご飯が済んだら、しよ ティア歴5年。この日は、5歳と4歳の兄弟を保育園に迎 えに行き、塾の一室で預かっ

援助側不足「もっと参加を」

同市北本町4丁目学習塾を営む西山肇・まつさん

達障害など障害児のニーズも増えてお

ムライスを食べ、「おいしい」とにっこり。3年前から週3、4日みてもらっており、3組目のおいちゃん、おばあちゃんのように打ち解けている。食べ終わった食器を自分たちで運び、粘土や折り紙で遊び始めた。

「子育てが終わり、何か人に役立ちたいと考えて、会員になりました。自分の子どもとってお世話してます」とまつさん。約2時間後に迎えに来た看護師の母親（36）は「好きな仕事が続けられるのは、西山さんのおかげ。子どもも懐いていて、本当に助かっています」と話す。

同センターは04年7月に同市が開設し、「財団法人高知勤労者福祉サービスセンター」（クンペル高知）が運営。生後6カ月から小学6年までの子どもを持ち、手助け

が必要な「依頼会員」と、20歳以上の有償ボランティア「援助会員」で構成されている。クンペルのアドバイザーが居住地などを考慮して、両者をマッチング。子どもも同席して事前打ち合わせを行い、「ペア」を組むことにお互いが同意すれば、援助を始める。利用料は、平日の昼間が1時間600円、夜間と土日祝日が1時間700円。

援助内容で多いのは、保育所・幼稚園のお迎え▽帰宅後や、放課後児童クラブ終了後の預かり▽習い事への送り迎えーなど。発達障害など障害児のニーズも増えており、特別な医療行為を必要としないなどの条件に合えば、できる限り支援している。



保育園に通う兄弟を毎週預かっている西山まつさん。「子育てで学んだことを教えてあげられ、やりがいがある」と話す（高知市北本町4丁目）